

東京電力パワーグリッド株式会社静岡総支社 の取り組み

活動内容

●中央公園花壇の管理(静岡総支社)

年2回の植え替え作業と日々の草取り、水やりを実施し緑化推進に協力している。花壇を管理することで花とみどりの保全、そこに生息する生き物の生息空間や生態系の維持に努めている。

●狩野川河川敷の清掃活動(静岡総支社)

市内一斉クリーン週間での河川敷周辺の清掃活動により、ゴミを取り除くことで水質保全につなげ、豊かな生態系の確保に努めている。

●設備改修等による影響の低減(東京電力パワーグリッド)

電気設備や建物等工作物の新築・増改築時は国・県・各地域における自然保護や景観に関する法令・条例等の遵守と適正な届出を実施している。

●尾瀬の保全(東京電力グループ(東京電力リニューアブルパワー))

高層湿原を主体とする湿原としては日本最大、1,000種を超える植物、160種の鳥類、40種のトンボなど豊かな動植物と変化に富んだ地形により学術的にも貴重な生態系から成り立つ尾瀬(群馬・福島・新潟・栃木の4県にまたがる)に16,334haの土地を保有し、およそ60年にわたり地域のパートナーとともに生態系の回復と保全活動に取り組んでいる。

●生物多様性保全に関する理解活動の推進(東京電力グループ)

東京電力グループ運営の「尾瀬ネイチャーセンター」で生物多様性をテーマに様々な自然保護活動を紹介している。(年間約1万人の来訪者)

また、尾瀬国立公園の現地の自然解説や、出前授業を通じた生物多様性の理解活動も実施している。(次世代層を中心とした約1,500人(年間)に現地で解説)。



リンク先

<https://www.tepco.co.jp/about/esg/environment/symbiosis-biodiversity/index-j.html>

https://www.tepco.co.jp/about/ir/library/annual_report/pdf/202309tougou-j.pdf

<https://www.tepco.co.jp/rp/oze/index-j.html>